

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム東町

2 目標達成計画

作成日: 令和 2年 2月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議に地域の代表者や家族の参加が得られていない。自治会長は仕事の都合で、家族も仕事を持っている方や高齢の方が多く、同じ方に依頼することになると、毎回の出席が得られない。	地域の代表者や家族に出席していただき、ホームの取組を報告することで、地域や家族との関わりを深めることができる。	自治会長の出席が得られない時は、副会長や会計・老人会長等への参加をお願いする。家族の出席に関しては、家族会や催しで集まった時に推進会議も一緒に行う。	1ヶ月
2	6	ホーム周辺に段差や水路があることや、事務所に職員が不在の時があるため、玄関を施錠し、拘束をしてしまっている。	入居者が拘束されているという意識がなくなるよう、外へ出たい意向があれば、外出できる環境を整える。職員は改めて施錠していることが拘束になることを認識してケアにあたるようにする。	玄関の施錠について、各ユニットで話し合い、今後の取組について検討する。また、入居者や家族とも話し合う時間を作る。	3ヶ月
3	36	トイレの扉が少しでも開いていると、カいっぱい閉めに来る入居者があり、指を挟まないようにクッションを付けていたが、下段はクッションを付けると車椅子が入らないため、接着していなかった。その隙間からトイレの中が見えてしまっていた。	入居者のプライバシー保護のため、トイレの中が見えないようにする。入居者が強く閉めても安全が確保されるようにする。	クッションが少し大きかったため、薄い物を購入し、接着する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。